

# 平成24年度の財務4表（普通会計）を公表します

現在、国や自治体で行っている単年度会計制度は、その年にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産などの情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点があります。

市では、それらの弱点を補うため、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づき、新しい財務書類を作成し

ています。

なお、平成22年度決算までは、総務省方式改訂モデルで作成していましたが、平成23年度決算からは、市の資産を正確に把握するための管理システムが整備されたことから、基準モデルに切り替え、財務書類を作成しています。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58-2111（内線1232）

## 貸借対照表（バランスシート）とは？

市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなってきたかを総括的に対照表示したものです。左右がバランスしているため、バランスシートとも呼ばれます。

## 資金収支計算書とは？

歳計現金（＝資金）の出入りの情報を、性質の異なる3つの区分（経常的収支、資本的収支、財務的収支）に分けて示したものです。

## 行政コスト計算書とは？

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接対価として得られた財源を対比させたものです。

## 純資産変動計算書とは？

貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを示したものです。

### 貸借対照表（バランスシート）

単位：百万円

資産の部		負債の部	
1 金融資産 債権、投資など	11,665	1 流動負債 預り金、公債（短期）など	1,601
2 非金融資産 事業用資産 （有形固定資産・無形固定資産など）	52,476	2 非流動負債 公債、引当金など	17,010
インフラ資産 （公共用財産用地・公共用財産施設など）	20,642	負債合計	18,612
	31,835	純資産の部	
資産合計	64,141	純資産合計	45,529
		負債・純資産合計	64,141

### 資金収支計算書

単位：百万円

1 経常的収支	3,610
（1）経常的支出	12,078
（2）経常的収入	15,689
2 資本的収支	△5,043
（1）資本的支出	5,138
（2）資本的収入	96
基礎的財政収支 （プライマリーバランス）	△1,432
3 財務的収支	948
（1）財務的支出	1,353
（2）財務的収入	2,300
当期資金収支額	△485
期首資金残高	1,729
期末資金残高	1,245

### 行政コスト計算書

単位：百万円

経常費用		12,749
1 経常業務費用	人件費、物件費など	6,179
2 移転支出	他会計への移転支出など	6,570
経常収益		729
1 業務収益		378
2 業務関連収益		351
純経常費用 （純行政コスト）		12,020

### 純資産変動計算書

単位：百万円

期首純資産残高		43,175
（イ）財源変動の部		△1,270
1 財源の使途	純経常費用への財源措置など	17,416
2 財源の調達	税金、移転収入など	16,145
（ロ）資産形成充当財源変動の部		4,740
（ハ）その他の純資産の変動の部		△1,116
当期変動額		2,354
期末純資産残高		45,529

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計額と一致しない場合があります。